

- 集落機能強化加算を活用して、高齢者見回り班を結成。
- 定期的な見回りと要望に応じた生活支援に取り組むことによって、集落の自治機能が強化。

## 集落協定の概要

R6協定面積: 44.2ha  
(うち田44.2ha)  
R5交付金額: 1,044万円  
(うち加算措置115万円)  
R5配分割合: 個人配分63.5%  
共同取組活動36.5%  
協定参加者: 農業者43人  
農業法人2法人  
非農業者22人  
構成集落数: 2集落  
開始年度: 平成12年度  
多面的機能支払との重複: (有)無

### 【目指している将来像】

- ・集落での支えあいを大切にし、自治機能を強化
- ・担い手の育成、法人を主体とした担い手の確保



【西野谷集落の風景】

## 取組の背景・課題

- 5期対策当初(令和2年度)、80歳以上の1人暮らしが6世帯。5年後に80歳を迎える住民は28名。
- 世帯数・住民数が年々減少し、担い手不足による荒廃農地の増加や住民同士のコミュニケーション機会および相互支援の減少など、集落機能の低下が危惧されている。

## 課題解決に向けた取組内容

- 協定の役員会で、高齢者が安心して生活していくためには既存の民生委員の見守り活動だけでは不十分だと声が上がリ、集落機能強化加算を活用して、一人暮らし世帯の見回り活動の実施を計画。
- 令和2年4月に協定構成員で高齢者の見回り班を立ち上げ。  
原則80歳以上の1人暮らし世帯の定期的な見回りを実施。見回り班の人数を年次的に増やし、見回り頻度も月1回⇒月2回以上に増加。
- 高齢者の要望に応じた生活支援も実施。

### 〈主な支援内容〉

- ・畑の草刈り
- ・玄関先等の除雪
- ・通院・買い物等の送り迎え
- ・災害時の安否確認 など



【高齢者見守り隊活動の様子】

- 定期的な訪問を行うことにより、高齢者世帯とのコミュニケーション機会が増えた。また、併せて行った生活支援によって集落生活の質的向上にもつながった。
- 高齢者見回り班活動の維持・継続ができるように体制を整えていく。